

6 (1) 第3次男女共同参画行動計画実施計画書 令和4年度の実績評価、内部評価について

行動計画に記載された各項目を基に、各所属での事業ごとの実施計画を作成。5年後の設定目標に向けて、毎年事業の計画を立ててそれに対する実績評価を行っている。

■実施計画書（令和4年度評価）について

- ・令和元年度～令和5年度まで、年度ごとの実績を入力し、評価していく
- ・評価方法については、資料2-2「事業評価パターンについて」を参照
- ・庁内の関係会議である幹事会、推進会議において、令和4年度実績を点検・確認を行った
- ・「指標・実績について」「評価理由について」「その他」の3つの区分で意見を集めたが、実績評価の点検の観点から今回は「評価理由」について修正を行っている

■修正事業（評価理由についての意見）

※修正箇所は、実施計画書の「実績から見た評価理由」中の下線で表示。

－事業番号1 (p1) 交流会やセミナーの開催（商工課）

目標に至らなかったという記載のみで、評価理由になっていない（満足度が下がったことの理由や分析など）

修正前	修正後
コロナ禍により、参加者数は減少し、満足度についても目標達成には至らなかった。	前年度に比べ、セミナー・交流会を多数開催し、参加者数は増加したが、満足度については目標達成に至らなかった。満足度の低下の要因としては、複数の参加者の個々のニーズや関心に十分に応じられなかったことと考えており、今後は参加者アンケートなどから、参加者のニーズを把握・分析し、セミナー・交流会の充実を図っていきたい。

－事業番号8 (p4) 家庭教育支援事業（社会教育課）

評価理由に具体的な数値（%）を入れた方がいい

修正前	修正後
親学講座は市内全ての小学校で実施することができた。また、つながるトークについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1校が中止となったが、16校で実施することができた	親学講座は市内全ての小学校で実施することができたため、実施率100%であった。また、つながるトークについては、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、17校中1校が中止となったため、16校での実施となり、実施率は94%であった。

－事業番号 13 (p7) 家庭生活への男性の参画促進に関する啓発（市民協働課）

広報媒体への記事掲載が出来なかった理由が欲しい。実績をしっかりと記載し、令和5年度に向けてどのようにしていくか書くべき

修正前	修正後
<p>広報紙への掲載はできなかったが。8月～9月に「良いストレスで築く明るい人間関係のためのヒント」というテーマで、講座と座談会を開催した。</p> <p>参加者：48人</p>	<p>市内での取り組みが取材などで把握できず、広報媒体への掲載ができなかった。</p> <p>8月～9月に「良いストレスで築く明るい人間関係のためのヒント」というテーマで、講座と座談会を開催した。</p> <p>参加者：48人</p>

－事業番号 27 (p15) 審議会等における女性委員の登用率の向上（市民協働課）

評価理由に取り組みを簡単に記載してほしい

修正前	修正後
<p>昨年度よりも登用率が向上し、目標値は上回っている。</p>	<p>審議会等における女性委員の登用率の調査結果を庁内会議で共有し、女性委員の登用についての意識啓発を行った。</p> <p>実績については、昨年度よりも登用率が向上し、目標値は上回っている。</p>

－事業番号 35 (p19) 女性議会や人材育成講座等の開催（市民協働課）

令和3年度から令和4年度にかけての具体的な取り組みや、数値向上の理由が分からない

修正前	修正後
<p>良いストレスで築く明るい人間関係のヒント</p> <p>8月27日・31日、9月10日・13日開催</p> <p>ところ プラザおおるり第3多目的室</p> <p>講師 会議ファシリテーター普及協会 副代表 小野寺郷子 氏</p> <p>参加者数 延べ48人</p> <p>また、7月30日に女性議会を開催し、5人が参加した。</p>	<p>講座の開催方式を複数回開催とし、参加者の間口を広げたため、実績が高くなっている。</p> <p>良いストレスで築く明るい人間関係のヒント</p> <p>8月27日・31日、9月10日・13日開催</p> <p>ところ プラザおおるり第3多目的室</p> <p>講師 会議ファシリテーター普及協会 副代表 小野寺郷子 氏</p> <p>参加者数 延べ48人</p> <p>また、7月30日に女性議会を開催し、5人が参加した。</p>

－事業番号 54 (p30) 若年層へのデート DV 防止の啓発（市民協働課）

情報提供していないので、実施に繋がらなかったのでは。情報提供できなかった理由の記載が必要

修正前	修正後
市内高校での実施はなかったので、情報提供の機会も持てなかった。市内中学校を対象にしたデート DV 防止セミナーは、1 校（初倉中学校）で実施をした。	市内高校での実施があった場合、各校への情報提供を行っているが、今年度は市内開催がなかったので、情報提供の機会も持てなかった。 市内中学校を対象にしたデート DV 防止セミナーは、1 校（初倉中学校）で実施をした。

－事業番号 56 (p31) 家庭児童相談室体制の強化（子育て応援課）

「受講したものが多く・・・」とは、過去の受講済みの方が多く、目標達成できなかったという意味か。表現が分かりにくい

修正前	修正後
R4 年度は、z o o mによる研修等多かったが、受講したものが多く、目標を達成することができなかった。 目標：研修参加回数 30 回、参加人数 60 人 実績：研修参加回数 29 回、参加人数 42 人	R4 年度は、z o o mによる研修等、研修参加回数は多かった。しかし、すでに受講している者が多く、研修参加人数については、目標を達成することができなかった。 目標：研修参加回数 30 回、参加人数 60 人 実績：研修参加回数 29 回、参加人数 42 人

※男女共同参画推進委員会で報告・確認後、点検結果はホームページ等で公表。

【参考：島田市男女共同参画推進条例】

（進ちよく状況の公表）

第 18 条 市長は、各年度における行動計画の進ちよく状況を公表するものとする。